

屋久島世界遺産地域管理計画に基づく報告(林野庁)

1. 平成28年度の事業実績

区 分	事 業 概 要	備 考
屋久島東部等地域の垂直方向の植生モニタリング調査	愛子岳東側斜面における標高別定点調査プロット(200・400・600・800・1,000・1,200)にて植生調査	
縄文杉南デッキ撤去及び跡地の植生回復	縄文杉大枝腐朽に伴う危険防止のために南デッキの解体撤去及び跡地の植生回復対策	
屋久島森林生態系の垂直方向の植生モニタリングに関する分析評価	垂直方向の植生モニタリング調査は、5箇所(東部、西部、南部、北部、中央部)の地域が3回終了したところ。それらのデータを基に経年変動の定量評価と今後の動態予測、中長期的視点から見た将来の方向性について検討	
高層湿原の変動に関する対応策の検討調査	花之江河、小花之江河において、高層湿原モニタリングが4回終了し、経年変動の定量評価と今後の動態予測、中長期的視点から見た将来の方向性について検討	

2. 平成29年度の事業予定

区 分	事 業 概 要	備 考
屋久島中央部地域の垂直方向の植生モニタリング調査	宮之浦岳周辺地域における標高別定点別植生調査を実施。標高別プロット6箇所、植物相調査地点7箇所、林冠ギャップ5箇所。	別添位置図参照
縄文杉大枝等健全度調査及びケーブリング設備撤去	縄文杉大枝腐朽に伴い設置されていたケーブリングについて、危険防止対策(デッキの撤去及び新たなデッキ設置)が完了したことからケーブリング撤去。	
高層湿原(小花之江河)植生保護柵設置及び設置後の植生回復等調査	平成28年度調査に基づき、高層湿原(小花之江河)において、植生保護柵(シカネット)を設置し、設置後の植生回復調査の実施。	別添位置図参照

区 分	事 業 概 要	備 考
野生鳥獣との共存に向けた生息環境等整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・屋久島における西部、南部、東部、北部、中央部の各1箇所において糞粒法によるヤクシカの生息密度調査実施。 ・ヤクシカの誘引効果が高い嗜好種の試験地を設置し、効率的な増殖方法にかかる課題整理の実施。 ・すでに設置してある、植生保護柵内外の植生調査。 ・ヤクシカの生息密度と植生被害の関係の調査。 ・ヤクシカの行動状況の行動パターンの調査。 	平成21年度から継続